

# オーテピア高知図書館における新型コロナウイルス感染症の 影響とその対応について



**オーテピア高知図書館**  
高知県立図書館／高知市民図書館本館  
Kochi Prefectural Library and Kochi Municipal Library

# 1 オーテピアの概要

1

## ○事業目的

- ・高知県立図書館・高知市立市民図書館本館、高知みらい科学館や高知声と点字の図書館を合わせた複合的施設
- ・縣市図書館の役割分担を明確にすることで効率的な運営を行い、機能の強化、蔵書及びサービスの拡充を図る
- ・中心市街地の活性化にも寄与
- ・3つの施設がそれぞれの機能を十分に発揮しながら相互に連携を図ることで様々な人々の交流を深め、高知県内の生涯学習や文化の発展に寄与

## ○来館者数の年間目標：100万人

→開館約2年で200万人達成 (R2.8.14)

**高知みらい科学館** (5階) = 高知市が設置・運営 (県は費用負担+運営参画)

- ・県内全域の理科教育・科学文化の振興を図る
- ①星空や宇宙に関するオリジナル番組を生解説で投映するプラネタリウム  
→[2018、2019年度観覧者数ランキング\(小規模館\) 連続第1位](#)
- ②「見て触れて感じて作って学び遊ぶ」体験型展示
- ③サイエンスショー、ミニかがく教室、科学館理科学習や出前教室等の開催

**オーテピア高知声と点字の図書館**

(1階) = 高知市が設置・運営 (県は費用負担+運営参画)

- ・文字情報の利用が困難な人への読書・情報サービスを提供
- ・「見えない、見えにくい人」の生活を支援する情報の提供

図書館	職員体制 (R2.4.1現在)	101名(県47・市54)
	運営費 (R2当初予算) ※一般職給与除く	1,445百万円 (うち県676百万円)
	蔵書点数 (移動図書館除く)	1,462,983点 (県925,316、市537,667) ※R2.3.31現在
	オーテピア 来館者数	2,177,694人 ※開館からR2.10末まで

科学館	職員体制 (R2.4.1現在)	29名(市)+併任1名(県)
	運営費 (R2当初予算)	154百万円 (うち県77百万円)
	プラネタリウム 観覧者数	99,977人 ※開館からR2.10末まで

点字図書館	職員体制 (R2.4.1現在)	15名(市)+併任1名(県)
	運営費 (R2当初予算)	102百万円 (うち県36百万円)
	蔵書点数	95,811点 ※R2.3.31現在
	利用登録者数 (新規登録者数)	694人(62人・21団体) ※R2.3.31現在

## 2 オーテピア高知図書館の概要

○全国初となる県市合築・共同運営による図書館

○中四国最大級の延床面積

(17,780.72㎡ 中四国2位・全国11位)

### ①地域を支える情報拠点機能の充実

○県民の多様なニーズに応えられる新鮮で幅広い資料の収集・提供  
(収蔵能力 約205万冊)

○紙×電子媒体のハイブリッド型図書館(電子書籍、オンライン・データベース、歴史資料のデジタル化)

○レファレンス・サービス(調べもの支援)の強化

### ②暮らしや仕事の中でのさまざまな課題解決への支援

○ビジネス・科学・産業・農業支援サービス

⇒「高知県産業振興計画」

○健康・安心・防災情報サービス

⇒「日本一の健康長寿県構想」「南海トラフ地震対策」

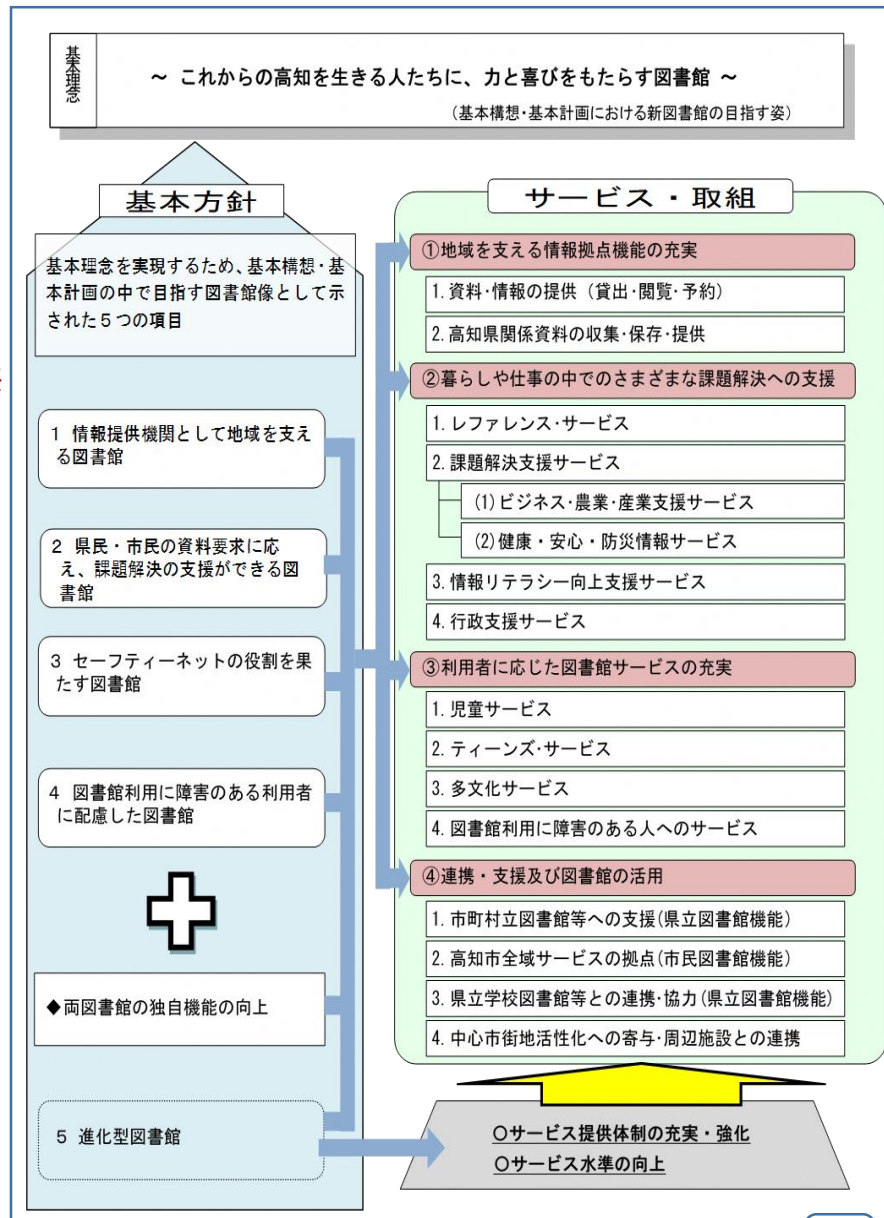
### ③誰もが支障なく利用できる図書館

～利用者に対応したサービスの充実

### ④連携・支援及び図書館の活用

○市町村立図書館や県立学校図書館等への支援(県機能)

○高知市内全域サービス(高知市機能)



### 3 オーテピア高知図書館の建設に至る経緯

○老朽化・狭隘化した県立図書館・高知市立市民図書館（本館）を合築により整備

平成22年8月 知事と高知市長が基本構想の着手に合意

平成22年10月 新図書館基本構想検討委員会発足

平成23年4月 「新図書館基本構想」策定

平成23年7月 「新図書館等複合施設整備基本計画」策定

○建設

・平成24年3月 「新図書館等複合施設基本設計」完了

・平成26年7月 着工 ・平成29年12月 竣工 ・平成30年7月 開館

南海トラフ地震対策、耐震天井等の見直し、免震装置の見直し等により、  
計画から開館まで8年を要す

○運営

・全国で初めて図書館業務に「連携協約」を導入（共通業務の安定的実施）

・一部の事務を県から市へ委託することにより業務を効率化・合理化

・県市それぞれの独自機能（市町村立図書館等支援及び分館分室支援等）は維持

## 4 オープピア高知図書館の課題解決型サービス

県民の仕事・暮らし・健康・安心を<情報>で支える

### ○「ビジネス・科学・産業・農業支援スペース」「健康・安心・防災スペース」の設置

- ・ 関連図書のほか、専門雑誌、業界新聞、パンフレット類まで重点的に収集（約11万5千冊）
- ・ 商圈分析や論文情報検索等、各種オンライン・データベースの提供（25種類）
- ・ 各デスクの担当司書が相談（レファレンス）に対応

### ○専門機関や県庁・市役所各部局との連携

- ・ **専門機関と連携**した企画展や相談会・セミナー・啓発イベント等の開催
- ・ 図書館の豊富な情報資源とオープンピアの集客力を生かした情報発信
- ・ **各機関と図書館をつなぐアウトリーチ担当司書を配置**

#### <連携事業例>



MADE in 高知の新型コロナ感染防止対策  
製品展示

展示期間 R2.5.12~R2.6.14

(高知県産業振興センター・県内企業)



こうちのohana満開プロジェクト

展示期間 R2.6.29~R2.12.4

(高知市農林水産課)



「がん患者の感じるコロナウイルスへの不安について」

パネル展 R2.8.8~R2.8.30  
相談会 9/5、9/12、9/19、9/26

(高知大学医学部附属病院)



講座「転倒を予防するリハビリ体操」

R2.11.1開催

(土佐リハビリテーション・カレッジ)

オーテピア高知図書館 目標値 (R3年度時点)		開館前実績 (H26年度) ※県・高知市の計	うち		オーテピア 高知図書館 (R元年度)	H26年度 比
			県立図書館	市民図書館本館		
①年間個人貸出点数	110万点	519,892点	181,882点	338,010点	1,064,469点	2.04倍
②レファレンス件数	3万件	23,989件	13,117件	10,872件	37,914件	1.58倍
③来館者数	100万人	620,158人	245,055人	375,103人	1,028,441人	1.66倍

R2.3.4～3.24 新型コロナウイルス感染拡大防止のため全館休館

# 6 新型コロナウイルス感染症による影響とその対応

## ■ 新型コロナウイルスによる臨時休館等

○感染拡大防止のため臨時休館（R2.3.4～3.24、4.11～5.10）

＜臨時休館中に実施したサービス＞

- ・予約資料郵送貸出し（着払い）
  - ・電子図書館の申込みをメールで受付 など
- } 利用者の声を反映

○再開館後の対応（R2.5.12～）

- ・図書館主催イベントの休止（5月末まで）
- ・グループ室の利用休止（現在は閲覧スペースとして使用）
- ・閲覧席、学習室の利用座席数減
- ・8月の休館日（資料特別整理期間）を臨時に開館 など

## ■ 休館等による影響

○来館者数・貸出点数の推移（1日あたりの平均）

	来館者数(人)		個人貸出点数(点)	
	R2	R元	R2	R元
2月	3,319	3,224	3,975	3,476
3月	2,671	3,224	5,768	3,458
4月	1,904	2,885	3,536	3,380
5月	2,081	3,209	4,261	3,235
6月	2,391	3,337	3,669	3,807
7月	2,664	3,688	3,701	3,840

} 休館前後の貸出しが増加

○電子図書館の利用状況 ※H29.10.18提供開始

- ・サービス開始からの累計登録者数：1,512人（R2.10月末）  
453人（R2.3月末）
- ※R2.4.28からメール申込による専用ID・パスワードの発行を開始し、登録者数が急増
- ・サービス開始から3年間の閲覧回数：22,980回
- ※R2.3～9月（6か月）の閲覧回数：9,940回

◇休館時の利用状況から、電子図書館のニーズが高まっている一方で、紙の書籍のニーズも依然として高いことが分かる。  
→電子のメリットを生かしながら紙の書籍も並行して充実させる必要がある。

## ■ 再休館となった場合のサービス提供

今後、再び休館が必要になった場合は、休館時の利用者の声を踏まえ、次のサービスにも取り組む予定

- 予約来館サービス  
実際に来館して本を探したい人のため、予約により利用時間・同時入館者数を限定し、開架スペースを開放
- レファレンスサービス  
郵便、FAX、ウェブ・サイト上の調べもの申込フォーム、電子メールによるレファレンスの受付  
※レファレンス・サービス：利用者の問合せに、図書館資料を案内したり、図書館資料に基づいて回答したりするサービス
- 非来館利用者登録  
郵送による共通利用カードの登録
- 新規資料予約・リクエスト受付 など

## ■ 今後の図書館サービス

- 図書館は不要不急の施設ではなく、新型コロナウイルスなどの感染症拡大時においても、新鮮で確かな資料・情報の提供を継続し、地域を支える情報拠点としての役割を果たしていく。
- また、電子図書館サービスの充実やデジタル化資料のホームページでの公開、Webコンテンツの提供など、非来館型サービスの充実も図る。
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策へのこれまでの経験を生かし、ウィズコロナ、アフターコロナの時期において、どのような図書館サービスを提供していくかという視点で、国の動きなどその他の社会情勢の変化も踏まえつつ、第2期オーテピア高知図書館サービス計画（期間：令和4年度～8年度、策定：令和3年9月予定）を検討する。